

[異常時通報連絡の公表文（様式１－２）]

伊方発電所から通報連絡のあった異常について
(令和７年１２月分)

R 8. 1. 13

原子力安全対策推進監

電話番号 089-912-2352

- １ 令和７年１２月に、安全協定に基づき四国電力株式会社から県へ通報連絡があった異常は次のとおりですので、お知らせします。

県の 公表 区分	異常事項	発生年月日	概 要	管理 区域 該当	国へ の 報告	備考
C	非常用ディーゼル発電機３Ａ排気管伸縮継手の割れ (３号機)	７. 12. ５	<p>伊方発電所３号機は定期事業者検査中において、試運転のため、非常用ディーゼル発電機３Ａを起動したところ、排気管付近より異音を確認したため、非常用ディーゼル発電機３Ａを停止した。保修員にて現場を確認し、当該排気管の詳細な点検が必要であると判断した。</p> <p>異音を確認した当該排気管付近を点検したところ、排気管伸縮継手に割れがあることを確認した。このため、割れがあった当該伸縮継手を予備品に取り替えた。</p> <p>また、当該箇所以外で使用している同じ伸縮継手についても確認を行い、割れなどの異常はなかったが、念のため全数を予備品に取り替えた。</p> <p>排気管伸縮継手を取り替えた後、非常用ディーゼル発電機３Ａの試運転を行い、運転状態に問題がないことを確認したことから、通常状態に復旧した。</p> <p>今後、詳細を調査する。</p> <p>本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。</p>	外	×	今回公表
C	空調用冷凍機の不具合 (３号機)	７. 12. 16	<p>伊方発電所３号機は、定期事業者検査中において、検査を実施中のところ、空調用冷凍機３Ｂが不調であったため、保修員が確認し、当該機器の詳細な点検が必要であると判断した。</p> <p>調査の結果、空調用冷凍機３Ｂの冷水流量が所定の流量を確保できていないことから、空調用冷凍機３Ｂが正常に起動しなかったことを確認した。</p> <p>このため、空調用冷凍機３Ｂの冷水流量について、空調用冷水系統内にある流量調整弁を調整し、所定の流量を確保した。</p> <p>その後、再度検査を行い、空調用冷凍機３Ｂが問題なく起動することを確認したため、通常状態に復旧した。</p> <p>本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。</p>	外	×	12/19 公表 済み

県の公表区分	異常事項	発生年月日	概要	管理区域該当	国への報告	備考
C	主蒸気配管の空気抜き配管からの水漏れ (3号機)	7.12.19	<p>伊方発電所3号機は定期事業者検査中のところ、主蒸気配管とつながっている空気抜きに使用する配管から水が漏れていることを確認した。</p> <p>このため、保守員が現場を確認し、詳細な点検が必要と判断した。なお、漏れ箇所の上流にある弁を閉止し、水漏れは停止している。</p> <p>その後、当該配管に約35mmの亀裂を確認した。このため、当該配管を取り替え、通水確認を行い問題がないことを確認したことから、通常状態に復旧した。</p> <p>今後、詳細を調査する。</p> <p>本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。</p>	外	×	12/23 公表済み
C	復水脱塩装置の復水脱塩塔からのイオン交換樹脂流出 (3号機)	7.12.19	<p>伊方発電所3号機は定期事業者検査中において、二次系クリーンアップ運転を実施していたところ、復水系統にあるストレーナの内部にイオン交換樹脂が溜まっていることを確認した。</p> <p>そのため、保守員が復水脱塩装置の脱塩塔3Dの内部確認をしたところ、ストレーナの内部にあったイオン交換樹脂は脱塩塔3D内の樹脂が流出したものと考えられることから、脱塩塔3Dの詳細な点検が必要であると判断した。</p> <p>点検の結果、脱塩塔3Dの塔内にある水が流れる配管のフランジ部を接続しているボルトにゆるみがあることを確認した。</p> <p>このボルトにゆるみがあったフランジ部の隙間からイオン交換樹脂が当該配管内に入り、脱塩塔3Dから流出したものと推定した。</p> <p>このため、当該配管の全てのフランジ部について、点検及びボルトの締付けを行い、脱塩塔3Dの通水確認を実施し、イオン交換樹脂の流出がないことを確認したことから、通常状態に復旧した。</p> <p>なお、流出したイオン交換樹脂は、復水系統内のストレーナにて捕捉し、全量回収している。</p> <p>今後、詳細を調査する。</p> <p>本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。</p>	外	×	今回公表

2 外部への放射能漏れや周辺環境放射線への影響はありませんでした。